

— 社会科学と情報技術のコンサルタント —
株式会社 ケー・シー・エス

所在地 : 東京都文京区小石川 1-1-17
TEL : 03-6240-0581
FAX : 03-6240-0591
URL : http://www.kcsweb.co.jp/
従業員 : 58名
創立 : 1969年9月1日
代表者 : 代表取締役 宇野 昭弘



本社社屋



道路空間再利用（一方通行化など）の実証実験



ヒヤリハットを検出するドライブレコーダー



プローブ交通情報管理解析システム



自動運転バスの実証実験



地域公共交通の維持に向けた取り組み



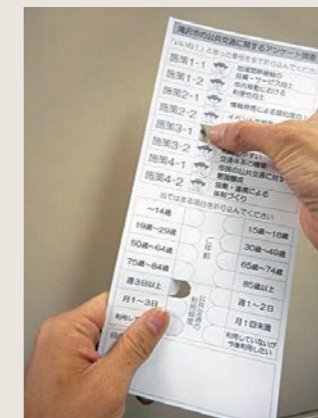
バスロケーションシステム



外国人向け受け入れ環境整備（パンフレット、webサイト、バス停標柱、避難マニュアル等）



外国人モニター調査



ビンゴカード形式のバス利用状況調査票



技術発表会（2019年度の様子）

沿革

当社は、2019年9月1日に創立50周年を迎えることが出来ました。

1969年9月1日に国際航業株式会社の子会社として創立され、建設コンサルタント領域への進出を目指すようになり、1972年には現在の株式会社ケー・シー・エスに商号変更し、環境分野から都市計画面分野、道路計画面分野、交通計画面分野へと業容を拡大しました。その後、建設コンサルタントとしての技術の蓄積を足掛かりに社会科学系のコンサルタントとしての成長を目指すようになりました。

現在では、道路及び都市、公共交通、観光、ならびにそれらの分野とIT技術を絡めたソリューションが基幹分野となっております。

企業理念

「より良い環境の創造及び環境保全の実現」

当社はコンサルタント活動を通じて、交通環境を快適

にし、安全・安心な生活環境の実現に向けて貢献していきます。

事業内容

当社の事業は大きく分けて、コンサルティング事業とプロダクツ・ソリューション事業からなります。

コンサルティング事業では、社会が直面する様々な課題、事象に対して、都市や道路、地域の公共交通、観光交通、そして防災・減災といった側面から、これまで蓄積してきた豊富な知見と時流を踏まえた柔軟で斬新なアイデアを提供しています。

2020年7月には、国土交通省にて新たなMaaSの構築を牽引するモデルプロジェクト38事業が選定されましたが、その中に、当社が関わる『新たな地域需要創出等を目指した、システム・地域・異業種連携による地方版「多用途連携型MaaS」構築プロジェクト』（会津Samurai MaaSプロジェクト協議会）が選定されました。こちらは、地域の課題解決に資するMaaSのモデル構

築を図る「日本版MaaS推進・支援事業」について公募を行い、有識者の意見も踏まえ、交通以外の分野と連携し、地域課題の解決に寄与することが見込まれる事業が選定されたものです。

プロダクツ・ソリューション事業では、ICT（情報通信技術）、ITS（高度道路交通システム）、ビッグデータ、ウェブアプリ、経済分析をはじめ、安全・安心な社会形成に向けて直面する問題・課題に対して、最適な製品やサービスを提供します。

主な製品は、交通情報管理解析システムである「PROTANAS®」（電子国土賞2012受賞）、交通事故やヒヤリハット発生時の前方動画を記録しドライブレコーダーとして機能するスマホアプリ「Safety Eye®」、バス情報リアルタイム管理ウェブアプリ「SubTour-Z™」等がございます。

今後の事業方針

これまででは、得意とする分野に関する計画づくりから

事業評価等に至るコンサルティングと、そこで蓄積したノウハウにビッグデータやIT技術を融合したプロダクツによって、顧客メリットの向上、社会課題の解決に取り組んでいますが、社会は急速かつ大きく変化しています。その要請に応えるためにも、我々が対応する分野も技術も領域も広げる必要があります。

もっと世の中に役立てることがあるはずで、そこにチャレンジすることが社業の発展にもつながります。

我々の技術がカバーできる分野を水平方向に拡大する取り組み、あるいは得意な分野に一層の磨きをかけ、頼られるオンリーワン技術を築いていきます。さらに、計画づくりのコンサルから、社会への実証や実装の場面に活動領域を広げ、社会の発展や地域の活性化、そこに暮らす人々の豊かさを共有するために、新たなサービス創造を社会に提供していける企業を目指します。

（文：代表取締役 宇野 昭弘）